

診療所だより

お問合先

東栄診療所 0536-79-3311

目薬の使い方・管理について

目薬は、飲み薬と違って気軽に使う方も多いかと思いますが、間違った使い方をすると逆に眼を傷つけたり、感染症になったりすることがあります。今回は目薬の正しい使い方・管理方法について説明します。

目薬の正しい使い方

- ① 手を石鹸で洗いましょう。
- ② 目薬の先が汚れないように注意しながらキャップを取り外します。
- ③ 人差し指で下まぶたを軽く引っ張って、1～2滴をさします。
- ④ 静かにまぶたを閉じます。

あふれた目薬は清潔なガーゼやティッシュペーパーでふき取ります。

- ⑤ まばたきをしないで約1～5分間眼を閉じます。

目頭を軽く抑えると効果的です。

- ・ 容器の先がまぶたやまつ毛、眼に触れないように注意しましょう。容器の先に当たってしまうと、雑菌が目薬の中で繁殖してしまいます。
- ・ 点眼するのは1滴で十分です。一度に何滴も点眼すると副作用が強くなる場合もあります。眼に直接当たらなくても、下まぶたの袋に目薬が入っていれば効果は出ます。

目薬の管理

未開封時は常温保存可能なものと、冷蔵庫で保存するものがあります。薬局で目薬をもらうときに確認してください。未開封時の期限は瓶に記載されています。いったん開封したら、一般的には病院で処方された目薬は約1か月、市販の目薬は約3か月程度です。

他にも1回使い切り、1週間使い切りのものなどがあります。目薬の瓶に開封した日付を書いておくとうわかりやすいです。基本的には開封したら常温保存可能なものでも、直射日光の当たらない涼しい場所、可能なら冷蔵庫等に保管しましょう。

何種類も目薬が処方されたとき、点眼する順序は？

基本的にはどの順番でもよい目薬が多いですが、何種類か使用する場合は5分以上の点眼間隔をあげましょう。ただし、懸濁性の点眼液(白いどろっとしたもの)、眼軟膏は最後にしてください。ご不明な点は医師、薬剤師からの指示に従ってください。

●かぜ症状のある方の受診・診察について

発熱はなくても、咳が出る、のどが痛いなどの風邪症状がある方も発熱外来で対応させて頂く場合があります。風邪症状のある方は直接来院せず、まずはお電話でお問い合わせください。（東栄診療所：79-3311）

また、発熱外来の診療についてはお待たせすることのないよう心がけておりますが、外来診療の状況によりお時間を頂く場合もございますのでご了承ください。

●12月のインフルエンザワクチン集団接種日程(完全予約制)

4日（月） 11日（月） 18日（月） 25日（月）

1日（金） 8日（金） 15日（金） 22日（金）

- ・ 集団接種希望の方は必ず予約が必要となります。
- ・ 接種会場は東栄診療所で15：00～16：45となります。赤字の日は16：00～16：45となります。

●12月のコロナワクチン接種日程(完全予約制)

4日（月） 18日（月）

21日（木）

- ・ 予約票で日時をご確認ください。
- ・ 接種会場は東栄ひだまりプラザ会議室で、東栄保健福祉センター玄関からお入りください。

●12月の予定

精神科 1日（金） 15日（金）

午後整形外科 11日（月） 25日（月）

6日（水） 13日（水） 20日（水） 27日（水）

腎臓内科 19日（火）

金曜日の整形外科の予約外の受付は11時までとなります。

12月14日（木）御上医師の午後診療の受付は2時30分までとなります。

12月29日（金）～1月3日（水）は休診となります。

東栄診療所からのお知らせは“とうえいチャンネル”又は“東栄町ホームページ”をご覧ください。